

2 公害の種類別公害苦情受付件数

(1) 典型7公害の種類別公害苦情受付件数

- 典型7公害では、「騒音」(36.5%)、「大気汚染」(28.0%)、「悪臭」(20.2%)で全体の84.7%を占める。
- 受付件数の減少(対前年度比▲4,728件)は、「大気汚染」(同▲2,715件)、「騒音」(同▲1,014件)の減少による影響が大きい。

〈統計表第1表参照〉

典型7公害の公害苦情受付件数(51,395件)を典型7公害の種類別にみると、「騒音」が18,755件(36.5%)と最も多く、次いで「大気汚染」が14,384件(28.0%)、「悪臭」が10,387件(20.2%)、「水質汚濁」が5,353件(10.4%)、「振動」が2,301件(4.5%)、「土壌汚染」が192件(0.4%)、「地盤沈下」が23件(0.0%)となっており、上位3つの公害の合計で全体の84.7%を占めている。受付件数が前年度に比べ4,728件の減少(対前年度比▲8.4%)となったことについては、「大気汚染」が2,715件(同▲15.9%)、「騒音」が1,014件(同▲5.1%)の減少となった影響が大きい(図2、図3、図4、表3)。

図2 典型7公害の種類別公害苦情受付件数の推移

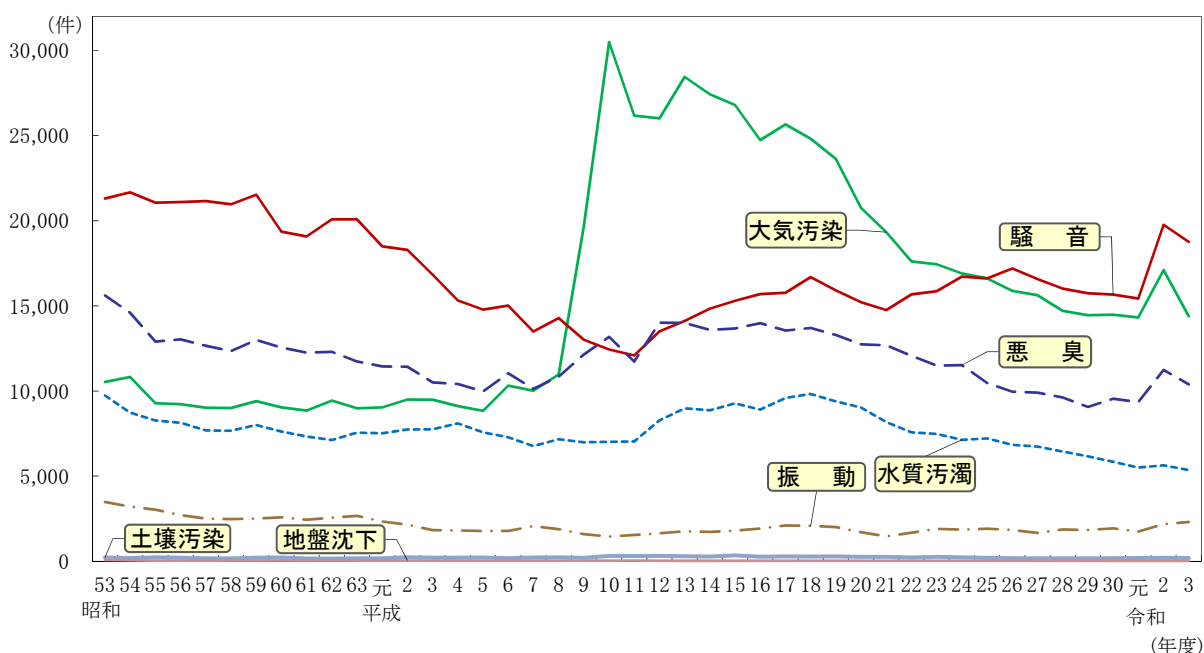


図3 典型7公害の種類別公害苦情受付件数

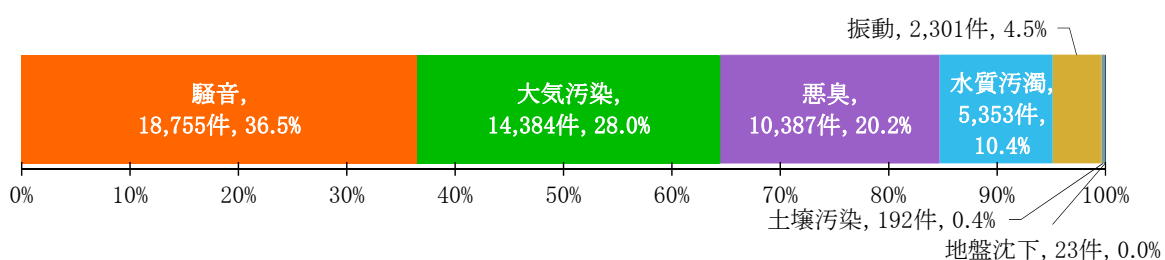


図4 典型7公害の種類別公害苦情受付件数（令和元～3年度）

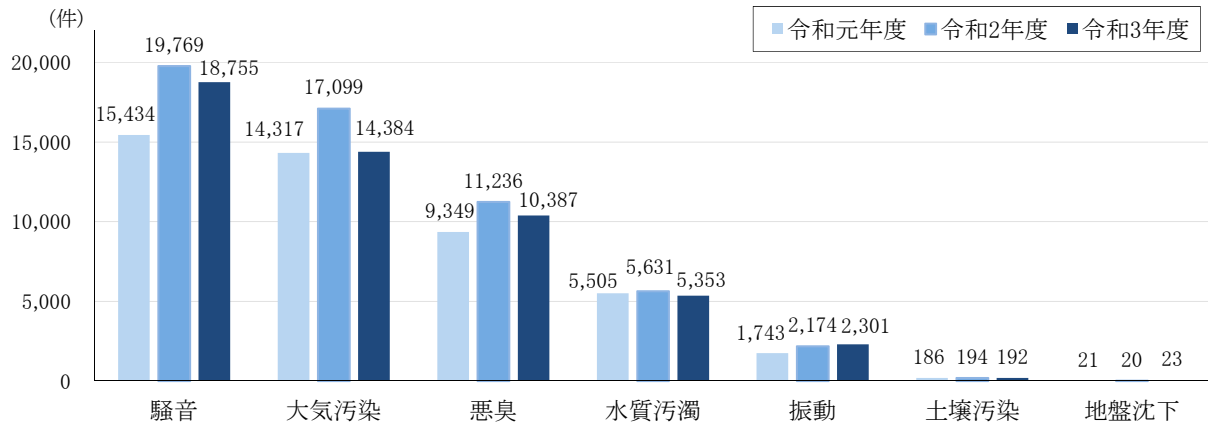


表3 典型7公害の種類別公害苦情受付件数の推移

（単位：件）

年度	合計	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動		地盤沈下	悪臭	
						低周波	振動			
公害苦情受付件数	平成23年度	54,453	17,444	7,477	252	15,862	189	1,902	22	11,494
	24	54,377	16,907	7,129	229	16,714	186	1,858	21	11,519
	25	53,039	16,616	7,216	202	16,611	185	1,914	16	10,464
	26	51,912	15,879	6,839	174	17,202	182	1,830	26	9,962
	27	50,677	15,625	6,729	167	16,574	227	1,663	22	9,897
	28	48,840	14,710	6,442	167	16,016	234	1,866	19	9,620
	29	47,437	14,450	6,161	166	15,743	191	1,831	23	9,063
	30	47,656	14,481	5,841	168	15,665	216	1,931	27	9,543
	令和元年度	46,555	14,317	5,505	186	15,434	249	1,743	21	9,349
	2	56,123	17,099	5,631	194	19,769	313	2,174	20	11,236
3	51,395	14,384	5,353	192	18,755	294	2,301	23	10,387	
構成比（%）	平成23年度	100.0	32.0	13.7	0.5	29.1	0.3	3.5	0.0	21.1
	24	100.0	31.1	13.1	0.4	30.7	0.3	3.4	0.0	21.2
	25	100.0	31.3	13.6	0.4	31.3	0.3	3.6	0.0	19.7
	26	100.0	30.6	13.2	0.3	33.1	0.4	3.5	0.1	19.2
	27	100.0	30.8	13.3	0.3	32.7	0.4	3.3	0.0	19.5
	28	100.0	30.1	13.2	0.3	32.8	0.5	3.8	0.0	19.7
	29	100.0	30.5	13.0	0.3	33.2	0.4	3.9	0.0	19.1
	30	100.0	30.4	12.3	0.4	32.9	0.5	4.1	0.1	20.0
	令和元年度	100.0	30.8	11.8	0.4	33.2	0.5	3.7	0.0	20.1
	2	100.0	30.5	10.0	0.3	35.2	0.6	3.9	0.0	20.0
3	100.0	28.0	10.4	0.4	36.5	0.6	4.5	0.0	20.2	
対前年度増減数	平成23年度	-392	-168	-97	30	184	-8	227	-1	-567
	24	-76	-537	-348	-23	852	-3	-44	-1	25
	25	-1,338	-291	87	-27	-103	-1	56	-5	-1,055
	26	-1,127	-737	-377	-28	591	-3	-84	10	-502
	27	-1,235	-254	-110	-7	-628	45	-167	-4	-65
	28	-1,837	-915	-287	0	-558	7	203	-3	-277
	29	-1,403	-260	-281	-1	-273	-43	-35	4	-557
	30	219	31	-320	2	-78	25	100	4	480
	令和元年度	-1,101	-164	-336	18	-231	33	-188	-6	-194
	2	9,568	2,782	126	8	4,335	64	431	-1	1,887
3	-4,728	-2,715	-278	-2	-1,014	-19	127	3	-849	
対前年度増減率（%）	平成23年度	-0.7	-1.0	-1.3	13.5	1.2	-4.1	13.6	-4.3	-4.7
	24	-0.1	-3.1	-4.7	-9.1	5.4	-1.6	-2.3	-4.5	0.2
	25	-2.5	-1.7	1.2	-11.8	-0.6	-0.5	3.0	-23.8	-9.2
	26	-2.1	-4.4	-5.2	-13.9	3.6	-1.6	-4.4	62.5	-4.8
	27	-2.4	-1.6	-1.6	-4.0	-3.7	24.7	-9.1	-15.4	-0.7
	28	-3.6	-5.9	-4.3	0.0	-3.4	3.1	12.2	-13.6	-2.8
	29	-2.9	-1.8	-4.4	-0.6	-1.7	-18.4	-1.9	21.1	-5.8
	30	0.5	0.2	-5.2	1.2	-0.5	13.1	5.5	17.4	5.3
	令和元年度	-2.3	-1.1	-5.8	10.7	-1.5	15.3	-9.7	-22.2	-2.0
	2	20.6	19.4	2.3	4.3	28.1	25.7	24.7	-4.8	20.2
3	-8.4	-15.9	-4.9	-1.0	-5.1	-6.1	5.8	15.0	-7.6	

(2) 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数

- 典型7公害以外では、「廃棄物投棄」※が前年度に比べ減少し9,867件

(※3ページの脚注1参照。以下本項において同じ。)

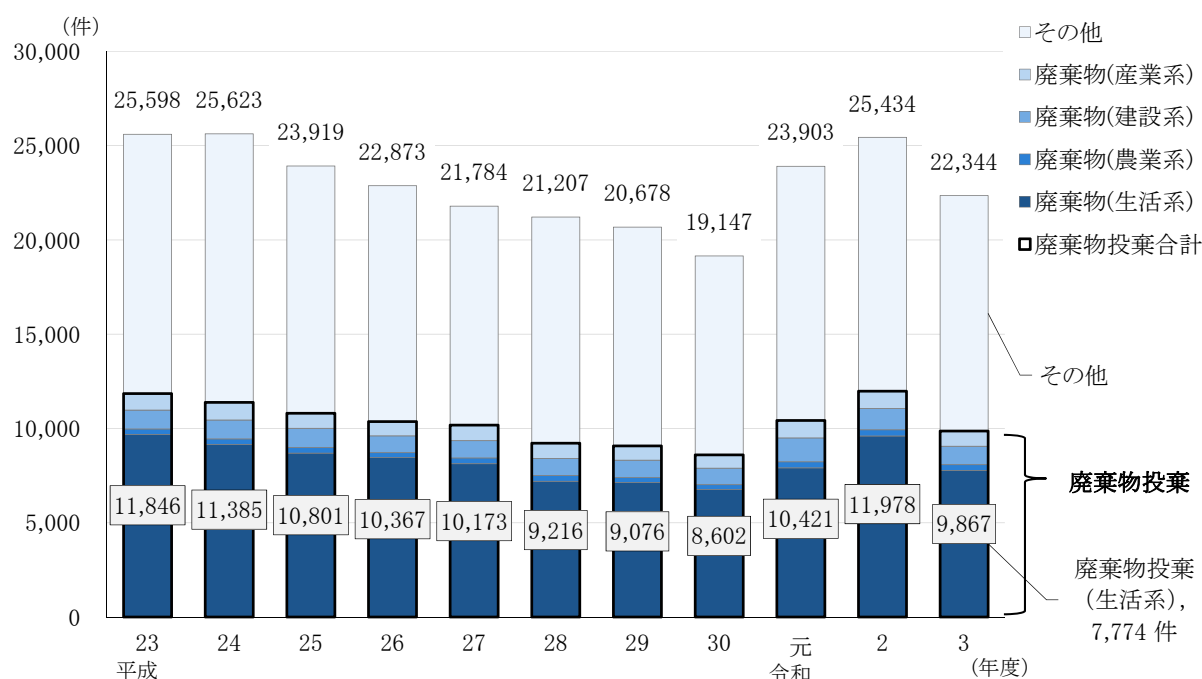
- ✓ 前年度から「生活系」が1,826件の減少(対前年度比▲19.0%)となったことにより、廃棄物投棄全体でも2,111件の減少(同▲17.6%)

〈統計表第1表、第10表参照〉

典型7公害以外の公害苦情受付件数(22,344件)のうち「廃棄物投棄」は9,867件と、前年度に比べ2,111件の減少(対前年度比▲17.6%)となった。「廃棄物投棄」の内訳をみると、「生活系」の投棄が7,774件(78.8%)となっており、最も多い。

受付件数が前年度に比べ3,090件の減少(対前年度比▲12.1%)となったことについては、「廃棄物投棄(生活系)」が1,826件の減少(同▲19.0%)となった影響が大きい(図5、図6、表4)。

図5 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移



注) 典型7公害以外の苦情の分類例

廃棄物投棄	生活系	主に家庭生活から発生した生ごみ・紙くず・新聞紙等の燃焼物、空き缶・空きびん・乾電池等の燃焼不適物、家具・電気製品・ピアノ等の粗大ごみ等の「一般廃棄物」の投棄
	農業系	主に農林漁業から発生した畜産関係の動物の死体、ふん尿等の「産業廃棄物」の投棄
	建設系	主に建設業から発生した建築廃材等の「産業廃棄物」の投棄
	産業系	主に卸売・小売業、飲食店、宿泊業等の産業における業務から排出したごみ、製造及び処理工程で発生した紙等のくず、金属くず、ガラス、燃え殻、ばいじん、汚泥、廃油・廃酸・廃プラスチック類等による「産業廃棄物」の投棄
その他	雑草等の花粉の浮遊、雑草等による交通視野妨害、雑草の繁茂による火災発生の危険性、汚水の流出、洗車場の汚水散布等に対する苦情	

図6 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数（令和元～3年度）

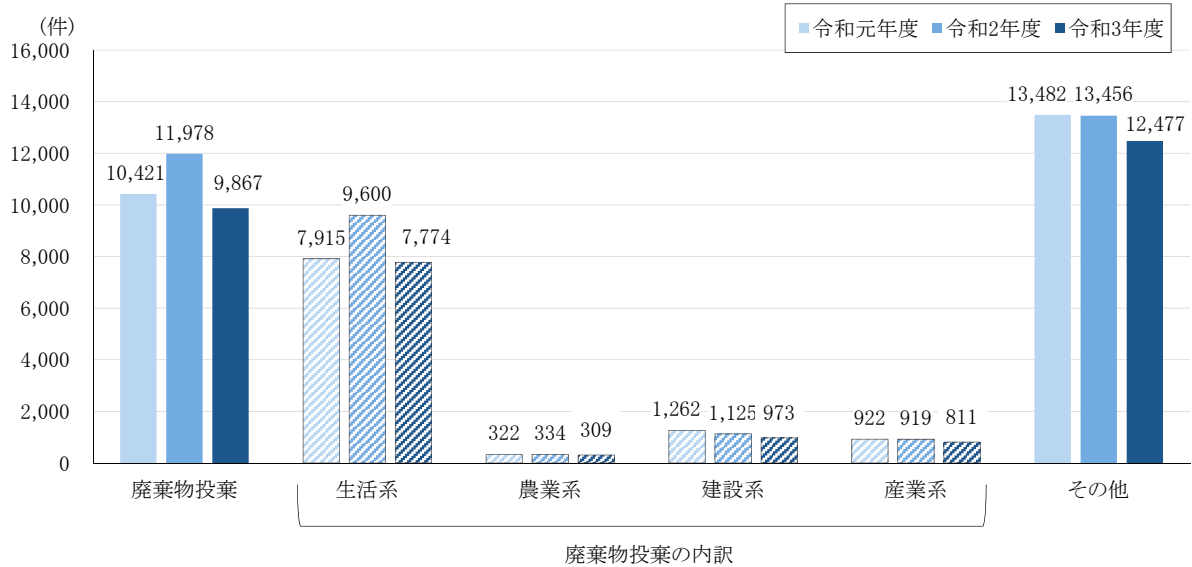


表4 典型7公害以外の種類別公害苦情受付件数の推移

(単位：件)

年度	合計	廃棄物投棄					その他	
		生活系	農業系	建設系	産業系			
公害苦情受付件数	平成23年度	25,598	11,846	9,681	292	1,003	870	13,752
	24	25,623	11,385	9,154	295	1,003	933	14,238
	25	23,919	10,801	8,696	293	1,016	796	13,118
	26	22,873	10,367	8,450	269	891	757	12,506
	27	21,784	10,173	8,128	309	918	818	11,611
	28	21,207	9,216	7,199	303	914	800	11,991
	29	20,678	9,076	7,130	262	925	759	11,602
	30	19,147	8,602	6,767	257	869	709	10,545
	令和元年度	23,903	10,421	7,915	322	1,262	922	13,482
	2	25,434	11,978	9,600	334	1,125	919	13,456
3	22,344	9,867	7,774	309	973	811	12,477	
対前年度増減数	平成23年度	348	-460	-89	-26	-135	-210	808
	24	25	-461	-527	3	0	63	486
	25	-1,704	-584	-458	-2	13	-137	-1,120
	26	-1,046	-434	-246	-24	-125	-39	-612
	27	-1,089	-194	-322	40	27	61	-895
	28	-577	-957	-929	-6	-4	-18	380
	29	-529	-140	-69	-41	11	-41	-389
	30	-1,531	-474	-363	-5	-56	-50	-1,057
	令和元年度	4,756	1,819	1,148	65	393	213	2,937
	2	1,531	1,557	1,685	12	-137	-3	-26
3	-3,090	-2,111	-1,826	-25	-152	-108	-979	
対前年度増減率(%)	平成23年度	1.4	-3.7	-0.9	-8.2	-11.9	-19.4	6.2
	24	0.1	-3.9	-5.4	1.0	0.0	7.2	3.5
	25	-6.7	-5.1	-5.0	-0.7	1.3	-14.7	-7.9
	26	-4.4	-4.0	-2.8	-8.2	-12.3	-4.9	-4.7
	27	-4.8	-1.9	-3.8	14.9	3.0	8.1	-7.2
	28	-2.6	-9.4	-11.4	-1.9	-0.4	-2.2	3.3
	29	-2.5	-1.5	-1.0	-13.5	1.2	-5.1	-3.2
	30	-7.4	-5.2	-5.1	-1.9	-6.1	-6.6	-9.1
	令和元年度	24.8	21.1	17.0	25.3	45.2	30.0	27.9
	2	6.4	14.9	21.3	3.7	-10.9	-0.3	-0.2
3	-12.1	-17.6	-19.0	-7.5	-13.5	-11.8	-7.3	

【コラム】 典型7公害以外の種類「その他」の具体的内容

典型7公害以外の種類「その他」は、平成15年度調査まで11種類に区分されていたものが、平成16年度調査から「その他」のみの1種類に統合され現在に至っている(170ページ参考2)。

今回の令和3年度調査では、「その他」の具体的内容を把握するために調査票を一部変更し、「その他」の選択肢に自由記入欄を付加することとした。

令和3年度調査の結果は、6・7ページのとおり「その他」が12,477件であった。うち自由記入欄も書かれていたものは、約4割の4,797件であった。

この4,797件について、平成15年度調査までの11種類の区分を用いて整理したところ、「害虫等の発生」が527件(11.0%)と最も多く、次いで「動物の死骸放置」が226件(4.7%)となっている(表A)。

しかし、依然として「その他」の割合が高いことから、自由記入欄に多数書かれていた雑草や樹木などに着目し、これを新たに追加した12種類の区分を用いて再整理したところ、「雑草の繁茂や樹木の越境等」が2,571件(53.6%)となり、過半を占めた(表B)。

表A 「その他」の具体的内容別公害苦情受付件数①

	令和3年度		(参考)平成15年度	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	4,797	100.0	17,215	100.0
日照	3	0.1	41	0.2
通風障害	0	0.0	15	0.1
光害	60	1.3	67	0.4
電波障害	6	0.1	183	1.1
土砂の散乱	0	0.0	161	0.9
土砂の流出	24	0.5	211	1.2
ふん・尿の害	91	1.9	703	4.1
害虫等の発生	527	11.0	2,008	11.7
火災の危険	11	0.2	1,001	5.8
動物の死骸放置	226	4.7	3,384	19.7
その他	3,849	80.2	9,441	54.8

表B 「その他」の具体的内容別公害苦情受付件数②

	令和3年度		(参考)平成15年度	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
合計	4,797	100.0	17,215	100.0
日照	3	0.1	41	0.2
通風障害	0	0.0	15	0.1
光害	60	1.3	67	0.4
電波障害	6	0.1	183	1.1
土砂の散乱	0	0.0	161	0.9
土砂の流出	24	0.5	211	1.2
ふん・尿の害	91	1.9	703	4.1
害虫等の発生	527	11.0	2,008	11.7
火災の危険	11	0.2	1,001	5.8
動物の死骸放置	226	4.7	3,384	19.7
雑草の繁茂や樹木の越境等	2,571	53.6	9,441	54.8
その他	1,278	26.6		

注) 自由記入欄に書かれている情報を基に整理したものであることに留意が必要である。

例えば、苦情の趣旨が放置された雑草への放火を懸念しているということであれば、本来なら「火災の危険」に計上されるべきであるが、単に「放置された雑草への苦情」といった記入内容にとどまっている場合は、「雑草の繁茂や樹木の越境等」に計上されることとなる。